

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年11月16日

計画の名称	歩行者の安全を確保する道路環境整備（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和03年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	横須賀市, 藤沢市												
計画の目標	通学路の緊急合同点検等の現地調査の結果、歩道設置、交差点改良等の整備が必要となった箇所の交通安全対策に取り組み、歩行者の安全・安心な道路環境を整える。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,049	A	2,049	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H33末)
1	・通学路の緊急合同点検等によって抽出された要対策箇所の歩車道整備率の向上 横須賀市 A01-001 整備率（%）＝ {（実施済建物調査費＋実施済用地補償費＋整備済工事費） / （委託料＋用地補償費＋工事費）} ×100	15%	%	84%
2	・通学路における安全の確保率の拡大 横須賀市 A01-001 通学路における安全の確保率（%）＝対策解消箇所の児童数/要対策箇所の児童数×100	68%	%	87%
3	・通学路の緊急合同点検等によって抽出された要対策箇所の歩車道整備率の向上 横須賀市 A01-002 整備率（%）＝ {（実施済建物調査費＋実施済用地補償費＋整備済工事費） / （委託料＋用地補償費＋工事費）} ×100	37%	%	100%
4	・通学路における安全の確保率の拡大 横須賀市 A01-002 通学路における安全の確保率（%）＝対策解消箇所の児童数/要対策箇所の児童数×100	29%	%	100%
5	・通学路における安全の確保率の拡大 藤沢市 A01-003 通学路における安全の確保率（%）＝対策解消箇所の児童数/要対策箇所の児童数×100	88%	%	100%
6	・通学路の緊急合同点検等によって抽出された要対策箇所の歩車道整備率の向上 横須賀市 A01-004 整備率（%）＝ {（実施済委託料＋整備済工事費） / （委託料＋負担金＋工事費）} ×100	0%	22%	100%

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H30	H31	R02	R03	R04					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
道路事業	A01-001	街路	一般	横須賀市	直接	横須賀市	S街路	改築	都市計画道路 市内環状線（第1期）	現道拡幅 L=0.19km	横須賀市	■	■	■	■		883		—		
	(1-A1) ※本来の事業実施期間は平成29～33年度だが、システムの都合で、整備計画・要素事業を、平成29年度と平成30～33年度に分割して登録している。																				
	A01-002	道路	一般	横須賀市	直接	横須賀市	市町村道	交安	市道676・1617号線	車道整備工事 L=0.17km	横須賀市	■	■	■	■		219		—		
	(1-A2) P3から移行																				
	A01-003	街路	一般	藤沢市	直接	藤沢市	S街路	改築	都市計画道路 善行長後線（六会工区）	バイパス L=0.18km	藤沢市	■	■	■	■		878		—		
	(1-A3)																				
	A01-004	道路	一般	横須賀市	直接	横須賀市	市町村道	交安	市道1028号線	歩車道整備工事 L=0.12km	横須賀市		■	■	■		69		—		
												小計						2,049			
												合計							2,049		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31	R02	
配分額 (a)	23	74	118	269	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	23	74	118	269	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	5	22	
支払済額 (e)	23	69	101	177	
翌年度繰越額 (f)	0	5	22	114	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	90	
不用額 (h = c+d- e- f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0	30.92	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由				補正予算が未契約のため。	